

# 世界遺産論

## 第5講 日本の世界遺産（文化遺産）②

瀬戸 敦子(岐阜女子大学)

### 【何を学ぶか】

- 「ル・コルビュジエの建築作品：近代建築運動への顕著な貢献」とは
- 「ル・コルビュジエの建築作品：近代建築運動への顕著な貢献」と「アントニ・ガウディの作品群」
- 「広島平和記念碑（原爆ドーム）」

### 【学修到達目標】

- 「ル・コルビュジエの建築作品：近代建築運動への顕著な貢献」の概要と登録内容について説明できる
- 「広島平和記念碑（原爆ドーム）」の概要と登録内容について説明できる
- 建築家の作品群のOUVについてル・コルビュジエのアントニ・ガウディの構成資産を比較しながら、そのOUVの特徴を説明できる
- 「負の遺産」とは何か、その特徴について具体例を挙げながら説明できる

ル・コルビュジエの建築作品：近代建築運動への顕著な貢献（フランス、スイス、日本、ドイツ、ベルギー、アルゼンチン、インド 2016年登録）

## 登録基準

(1) (2) (6)

## 日本初のトランスバウンダリー・サイト



ル・コルビュジエ (1887-1965)

近代建築の三大巨匠のひとり

- (1) ル・コルビュジエ
- (2) フランク・ロイド・ライト
- (3) ミース・ファン・デル・ローエ

近代建築の重要な概念（5原則）

- (1) **ピロティ**
- (2) 屋上庭園
- (3) 自由な設計図
- (4) 水平連続窓
- (5) 自由なファサード

NO.	所有国	構成資産名
1	フランス	ラ・ロッシュ-ジャンヌ邸
2		ペサックの集合住宅
3		<b>サヴォア邸</b> と庭師小屋
4		ポルト・モリトーの集合住宅
5		マルセイユのユニテ・ダビタシオン
6		サン・ディエの工場
7		ロンシャンの礼拝堂
8		カップ・マルタンの休暇小屋
9		ラ・トゥーレットの修道院
10		フィルミニの文化の家
11	スイス	レマン湖畔の小さな家
12		イムーブル・クラルテ
13	ベルギー	ギエット邸
14	ドイツ	ヴァイセンホフ・ジードルングの住宅
15	インド	チャンディガールのキャピトル・コンプレックス
16	アルゼンチン	クルチエット邸
17	<b>日本</b>	<b>国立西洋美術館</b>

※すべての概念を集約したとされる建築は、**サヴォア邸**である。

# 第5講 日本の世界遺産（文化遺産）①

ル・コルビュジエの建築作品：近代建築運動への顕著な貢献（フランス、スイス、日本、ドイツ、ベルギー、アルゼンチン、インド 2016年登録）

## 【日本】 国立西洋美術館

実業家の**松方幸次郎**が1920年代までに収集し、戦後フランスに押収されていた「**松方コレクション**」と呼ばれる西洋美術品を展示する目的で建設



### 無限成長美術館

展示空間が渦巻きのように螺旋を描きながら伸び、美術作品が増えても外側へ増築して展示スペースを無限に拡大できるという考えを基にした建築

フランスからの寄贈返還条件が専用の美術館建設であった。  
(1959年開館)

## 【アントニ・ガウディの作品群（スペイン 1984）】との違い

一個人の建築作品群が世界遺産に登録された中で、最も有名なものが、スペイン バルセロナの「アントニ・ガウディの作品群」である。ガウディの作品群とコルビュジエの作品群では価値のあり方が全く異なる。



アントニ・ガウディの作品群：カタルーニャ地方のバルセロナという**地方限定**である地域文化が根拠として世界的にも重要だった点に価値がある。

ル・コルビュジエの作品群：**大陸をまたいで世界各地に点在**し、これまでは、各地域で伝統的な素材や技術を利用して建物を造っていたが、20世紀以降は**技術が国境を越えて世界的共通**になっていったことを証明する作品群である。

## 広島平和記念碑（原爆ドーム）（広島県 1996年登録）

登録基準 (6)

### 負の遺産

近現代に起こった戦争や人種差別など、人類が犯した過ちを記憶にとどめ教訓とするためのもの



- ◆世界遺産条約で正式に定義されているものではない
- ◆登録基準 (vi) のみで登録されることがある

広島県物産陳列館

1915年チェコ建築家  
ヤン・レツル

広島県立商品陳列所

広島県産業奨励館

人類が歴史上初めて使用  
した核兵器

原爆ドーム

1966年永久保存決定

広島平和記念碑

1996年 アメリカ  
反対、中国 審議棄権



核兵器廃絶と  
世界恒久平和  
「ヒロシマの願い」

# 第5講 日本の世界遺産（文化遺産）②

2023.9作成

登録名	国名	基準	概要
ゴレ島	セネガル	6	奴隷貿易の拠点となった島。
アウシュヴィッツ＝ビルケナウ ナチス・ドイツの強制絶滅収容所	ポーランド	6	ナチス・ドイツがユダヤ人を虐殺した強制収容所。 (1940年 - 1945年)
ヴォルタ州、グレーター・アクラ州、 セントラル州、ウェスタン州の城塞群	ガーナ	6	奴隷貿易の拠点となった要塞が複数含まれる。
キルワ・キシワニとソンゴ・ムナラの 遺跡群	タンザニア	3	牢獄の遺跡などを含む。
カルタヘナの港、要塞群と建造物群	コロンビア	4・6	南米各地で略奪された先住民の財宝の積出港となった。
ポトシ市街	ボリビア	2・4・6	その過酷な労働から「人を食う山」と恐れられた銀鉱 山の下で発達した町。
トリニダとロス・インヘニオス渓谷	キューバ	4・5	奴隷の監視塔などが残るサトウキビ農園跡とその繁栄 で築かれた建造物群が残る。
ソロヴェツキー諸島の文化的・歴史的 建造物群	ロシア	4	ソロヴェツキー修道院はソ連時代に強制収容所に転用 されていた歴史を持つ。
原爆ドーム（広島平和記念碑）	日本	6	広島原爆で辛うじて残った広島県産業奨励館の残骸。 核兵器の悲惨さを伝えている。
ロベン島	南アフリカ共和国	3・6	人種隔離政策に反対した人達が収容された島。
ザンジバル島のストーン・タウン	タンザニア	2・3・6	東アフリカにおける奴隷貿易の拠点。
バーミヤン渓谷の文化的景観と古代遺 跡群	アフガニスタン	1・2・ 3・4・6	重要な巡礼地であったことから、度重なる攻撃を受け た。
クンタ・キンテ島と関連遺跡群	ガンビア	3・6	ゴレ島とともに奴隷貿易の拠点となった。
海商都市リヴァプール（21年抹消）	イギリス	2・3・4	奴隷を含む三角貿易で栄えた港。
モスタル旧市街の古い橋の地区	ボスニア・ヘル ツェゴビナ	6	民族・宗教対立によって破壊された橋。内戦終結後に 再建された平和と共存の象徴でもある。
アープラヴァシ・ガート	モーリシャス	6	奴隷制度に代わる「契約移民労働」制度が始められた 場所。地球規模での労働者の移動の先駆的な例という 肯定的評価もなされている。
ル・モーンの文化的景観	モーリシャス	3・6	脱走した奴隷たちが自由を求めて戦った場所。
ビキニ環礁の核実験場跡	マーシャル諸島	4・6	1954年3月1日の核実験で多数の漁船や島民が死の灰 を浴びた。
オーストラリアの囚人遺跡群	オーストラリア	4・6	かつて大英帝国が築いた刑務所などの建造物群。

# 課題

## (1) ワークブック

日本の世界遺産 「近代建築」

日本の世界遺産 「第二次世界大戦の傷跡」

## レポート課題（発展的課題）

(2) ル・コルビュジエとアントニ・ガウディの建築作品を比較し、それぞれのOUVとは何か、またその考え方の違いをレポートにまとめなさい